

平成30年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」・「読み解く力」における平均正答率の比較

葛西第三中学校

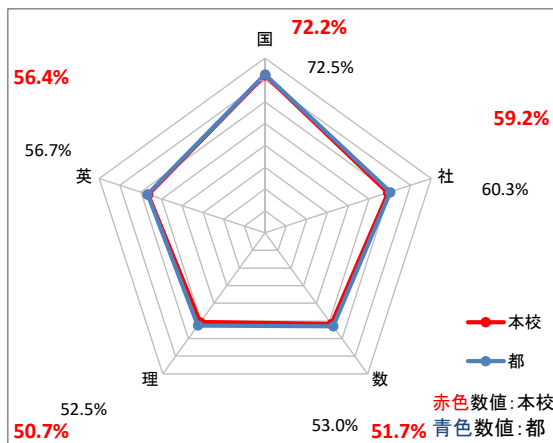
国語	教科の観点						読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	92.5%	68.1%	78.0%	70.5%	70.1%	73.2%	85.8%	64.2%	62.4%	69.2%	72.5%
本校	91.0%	64.0%	79.2%	70.5%	71.5%	73.2%	85.7%	63.1%	57.6%	67.4%	72.2%
都との差	-1.5	-4.1	1.2	0.0	1.4	0.0	-0.1	-1.1	-4.8	-1.8	-0.3

社会	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	94.4%	59.9%	57.6%	62.0%	62.9%	62.9%	42.9%	46.8%	50.9%	60.3%
本校	95.7%	57.7%	58.5%	60.1%	62.2%	58.3%	42.6%	43.1%	48.0%	59.2%
都との差	1.3	-2.2	0.9	-1.9	-0.7	-4.6	-0.3	-3.7	-2.9	-1.1

数学	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	77.6%	41.6%	53.9%	58.8%	55.6%	49.6%	49.3%	35.4%	45.4%	53.0%
本校	75.2%	38.4%	53.8%	56.1%	54.2%	48.1%	46.2%	36.9%	44.4%	51.7%
都との差	-2.4	-3.2	-0.1	-2.7	-1.4	-1.5	-3.1	1.5	-1.0	-1.3

理科	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	86.7%	45.7%	61.4%	46.8%	53.4%	78.7%	49.8%	19.5%	49.4%	52.5%
本校	90.2%	43.2%	59.6%	42.9%	51.0%	77.6%	52.1%	18.3%	49.4%	50.7%
都との差	3.5	-2.5	-1.8	-3.9	-2.4	-1.1	2.3	-1.2	0.0	-1.8

英語	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	82.6%	31.7%	69.5%	59.3%	60.2%	45.2%	52.9%	37.4%	45.2%	56.7%
本校	86.9%	26.2%	68.5%	59.3%	59.1%	45.7%	56.7%	39.8%	47.4%	56.4%
都との差	4.3	-5.5	-1.0	0.0	-1.1	0.5	3.8	2.4	2.2	-0.3



《都との比較にみる本校の状況》

「全体平均」を都平均と比較すると、各教科とも、都平均と比べて0.3～1.8ポイント低い正答率となっている。その中で、「教科の観点」に関しては国語は都平均と同じ、「読み解く力」に関しては英語は都平均より2.2ポイント高く、理科は都平均と同じ正答率となっている。一方、「教科の観点」については理科で都平均より2.4ポイント低く、「読み解く力」については社会で都平均より2.9ポイント低くなっている。

教科で比較すると、国語・社会に比べて数学・理科の方が都平均との差が大きく、理系の教科を不得意とする生徒が若干多い、ということが言える。また、全教科を通じ、表現の能力をさらに高めていく指導が必要、ということも見て取れる。

《授業改善のポイント》

現在本校でも研修を続けている「ICTを活用した授業」を今後も多く取り入れ、生徒の興味・関心を惹きつけながら、より分かりやすい授業を展開していく必要がある。また、数学・英語で実践している少人数授業を継続し、基礎をしっかりと固め、発展的な問題にも積極的にチャレンジさせながら、学校全体の学力向上につなげていく。さらに、各教科で「話し合い活動」を取り入れ、生徒同士での学びあい・教えあいが活発になるような授業を展開していく。その中で、表現力を身に付け、さらに深い学びへと発展させていく。

《家庭・地域への働きかけ》

家庭学習習慣の定着のため、定期的に課題を出し、毎日家庭で机に向かい、学習する習慣をつけるよう指導している。保護者会等でも保護者の協力を得ながら、学校・家庭で連携しながら学力向上を図っていく。